

# 蔵王町財務書類（統一的な基準）

# -概要版-

（令和3年度 一般会計）

## 財務書類の公表

地方公会計制度での財務書類については、H20年度決算からの作成・公表が必要となり、蔵王町では「総務省方式改定モデル」により財務書類を作成してきました。

しかし、複数の基準があったことから、H26年度に財務書類の「統一的な基準」が示され、H29年度までに財務書類の作成が必要となりました。蔵王町では、H26年度決算から「統一的な基準」による財務書類の試作を行い、H27年度決算から公表しております。

## 財務書類でわかること

住民一人あたり		純資産比率	負債比率
資産	163万円	70.4%	42.1%
うち現預金	25万円	企業会計でいう「自己資本比率」に相当し、この比率が高いほど財政状況が健全であると言えます。〔純資産/総資産〕	純資産に対する負債の割合を表すもので、この比率が低いほど財政状況が健全であると言えます。〔負債/純資産〕
負債	48万円		
うち借金	39万円		
純行政コスト	58万円		

## 貸借対照表

行政サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたのかを示したものです。

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
1 固定資産	17,498	1 固定負債	4,843
（事業用、インフラ資産、その他、基金など）		（地方債など）	
		2 流動負債	672
		（地方債翌年度償還金など）	
		負債合計	5,514
2 流動資産	1,107	純資産の部	
（未収金、財政調整基金など）		国・県及び過去世代が負担した分	
うち現金預金	266	純資産合計	13,091
資産合計	18,605	負債及び純資産合計	18,605

## 連結

### 全体

### 一般会計

特別会計：国保、介護、後期高齢

企業会計：病院、水道、下水

### 一部事務組合等

仙南地域広域行政事務組合、白石市外二町組合、非常勤消防団員補償報償組合、後期高齢者広域連合、市町村自治振興センター

## 行政コスト計算書

人的・給付サービスの提供など資産形成以外の行政活動に要したコストと、財源となる使用料・手数料などの収入の関係を示したものです。

（単位：百万円）

1 経常費用	6,811
（内訳）	
(1) 経常業務にかかるコスト	3,859
① 人にかかるコスト	1,513
② 物にかかるコスト	2,300
③ その他コスト(支払利子など)	46
(2) 移転支出にかかるコスト	2,952
（補助金等、社会保障給付など）	
2 経常収益	199
（使用料・手数料、諸収入など）	
3 臨時損失	43
（災害復旧、出資金強制評価減など）	
4 臨時利益	1
（資産売却益など）	
純行政コスト(1-2+3-4)	6,655

## 資金収支計算書

1年間の行政活動の資金の増減を3つに区分して示したものです。

（単位：百万円）

1 期首資金残高	234
2 期中増減額	△ 29
（内訳）	
(1) 業務活動収支	686
(2) 投資活動収支	△ 575
！ 基礎的財政収支(利払後)	110
(3) 財務活動収支	△ 139
3 期末資金残高(1+2)	205
4 期末歳計外現金残高	61
期末現金預金残高(3+4)	266

！ 基礎的財政収支(プライマリーバランス)がゼロ以上であれば、借金に依存しない財政運営が行われたことになります。

## 純資産変動計算書

純資産が1年間でどのように増減したかを示したものです。

（単位：百万円）

1 期首純資産	12,867
2 期中増減額	224
（内訳）	
(1) 純行政コスト	△ 6,655
(2) 税金等、国県等補助金	6,861
(3) 評価損益・所管換など	17
期末純資産残高(1+2)	13,091

※単位未満を四捨五入しているため、一致しない箇所があります。